



新しい保険に見直す時にはぜひ確認を！



結婚や出産、マイホーム取得時など、長い人生の中でライフスタイルの変化に合わせて保険の見直しを検討される方も多いと思います。

最近では「保険の乗り換え契約」によるトラブルの報道が目が行き、「保険の乗り換え、見直し＝損をする」というイメージになりがちですが、保険の乗り換え自体が悪いということではありません。

生命保険は医療制度や平均寿命の伸長などによって、時代に合った商品内容にリニューアルされています。例えば、入院期間が長い時代では入院給付金は「5日以上入院で5日目から支給(4日免責)」でしたが、現在は医療技術、制度により入院の短期化が進み「日帰り入院から支給対象」というのが一般的です。もしもの時にしっかりと保険金・給付金を受け取れるように、時代に合った保険への見直しが必要ですね。

現在加入中の保険を解約し、新たな保険に加入することを「**乗り換え契約**」と呼びます。

上記のように、見直しをすることで時代に合った保障内容を得られるということは大きなメリットですが、残念ながらデメリットもあります。今世間でトラブルになっているのは、不適切な乗り換え契約を促したことにより、お客様がデメリットを被ったケースが多発しているという点です。

弊社でも多くのお客様の乗り換え契約に携わり、お客様の「現在」において必要な保障のご提供に努めています。その際には、**重要事項説明書(注意喚起情報)**を使用し、**乗り換え契約における不利益事項をご説明させていただきます。**

代表的なものをいくつかご紹介いたします。

- 現在の保険契約の解約、減額について、解約返戻金は多くの場合、払込保険料の合計金額より少ない金額になること。
- 新たな保険契約の際には、告知義務があります。そのため、特別な条件でお引き受けすることや、お引き受けできないことがあります。
- がん保険など、保険の種類や特約によっては保障開始までに新たな保険契約の責任開始期から一定期間の待ち期間があること。

上記は一例ではありますが、事前にご理解された上での適正な保険の見直しは、「現在」の皆さんに必要な保障を確保することに役立ちます。見直しをされる際に、疑問に感じたことがあればご質問くださいね。

我々は、お客様にとって誠意あるFPであることを、お約束致します。



あおり運転対策にも！保険会社とつながるドライブレコーダー付自動車保険！

2017年6月に東名高速で発生した「あおり運転」に起因する追突死亡事故の報道をきっかけに、ドライブレコーダーがあらためて注目されています。今年1月よりドラレコ付自動車保険の販売が開始されました。車が衝撃を検知すると、ドラレコが保険会社の専任オペレーターへ自動通報、事故映像を自動的に記録・送信するので、事故解決に活用する事が出来ます！急なトラブル時に、ドラレコと保険会社が繋がっているのが心強いですね。

[発行] 株式会社F・P・S

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル6階
(大阪メトロ 堺筋本町駅⑫番出口 徒歩1分)

代表電話：06-6262-0501 フリーコール 0800-111-5667
<https://fpsjp.com/>



HPIはこちらから

FB00063